

浜学園	6年						
	算数						
学習内容	No.3 規則性 No.4 数の性質(1) No.5 数の性質(2)						
家庭学習 ポイント	3月はNo.3規則性、No.4数の性質(1)、No.5数の性質(2)について学習します。「規則性」では等差数列、群数列（増殖型のものも）、異なる2つの数列の複合、フィボナッチ数列、数表（応用）、曜日当てなどまでが学習範囲です。「数の性質(1)」では約数の個数、倍数の個数、倍数判定法に始まり、素因数分解の応用（平方数を作る）、奇数列の和、割り切れる回数、そしてユークリッドの互除法まで扱います。「数の性質(2)」では、公約数・公倍数に関する文章題、余り、不足からの数当て、最大公約数・最小公倍数からの数当て、バス、花火などの時間の間隔と公倍数の文章題など、入試頻出の応用問題まで扱います。6年生ですから、1回の授業で扱う内容は膨大になっています。「もう大丈夫なもの」「まだ課題を抱えているもの」にしっかり内容を分類し、整理しながら学習を進めていきましょう。講習会での復習の機会はあるものの、1回1回の授業で完全に習得するつもりで取り組むことが大切です。						
課題の把握と解決策	チェック1	等差数列の公式を丸覚えしていませんか？		チェック			
	解決策	公式はいつでも「なぜそうなるか」説明できる状態にしておくことが重要ですね		<input type="checkbox"/>			
	チェック2	日数の問題でよく「1違い」で間違っていませんか？		チェック			
	解決策	「+1」「-1」のからむ公式を自分の言葉で説明できるかチェックしてみましょう		<input type="checkbox"/>			
	チェック3	倍数や約数の個数を正しく答えられますか？		チェック			
	解決策	数え出しと計算、どちらもできるようにしておくことが大切です		<input type="checkbox"/>			
	チェック4	バス、花火などの時間の間隔と公倍数の文章題を正しく解けていますか？		チェック			
	解決策	まずは最小公倍数までの範囲で何回あるかを考えてみましょう		<input type="checkbox"/>			
	チェック5	1回1回の授業で完全理解を目指していますか？		チェック			
	解決策	6年生の授業では「今回が最後の機会」といった気持ちで取り組みたいですね		<input type="checkbox"/>			
浜学園	6年						
	国語						
学習内容	物語文 隨筆文 説明文						
家庭学習 ポイント	3月は物語文・隨筆文・説明文の読解が中心になります。読解では、5年生までに習ったそれぞれの素材文の「読み方」を思い出し、1問1問で実践していくことが重要になります。物語文では場面の変化から登場人物の心情の変化を読み取り、論説文・隨筆文などでは事実と筆者の考えを読み分けるなど、基本に立ち返って文章読解にあたりましょう。6年生になると、授業は「教えてもらう」から「問題を解いて学習する」ことが中心になります。それにともなって、宿題の量も多くなります。これまでと同じ感覚でいると、復習テストの直前になって慌てて宿題を表面的に終わらせてしまうことになりがちです。時間を費やす問題とそうでない問題に分けて、優先順位を付けていきましょう。少し頑張れば解けそうな問題を優先して時間を使うことが大切です。また、公開テストでは、文章題は2つになりますが、制限時間は5分しか増えません。時間配分を見直す必要がありますね。						
課題の把握と解決策	チェック1	説明文の読解では、逆説の接続語に注目していますか？		チェック			
	解決策	まずは一般的なことを説明し「しかし」などの後に筆者の考えが述べられることはよくありますね		<input type="checkbox"/>			
	チェック2	物語文の読解では、場面の変化から登場人物の心情を読み取っていますか？		チェック			
	解決策	物語文の代表的な読解法ですね。情景がそのまま登場人物の心情を表していることが多いです		<input type="checkbox"/>			
	チェック3	論説文や隨筆文の読解では、筆者の考えと事実を読み分けていますか？		チェック			
	解決策	記述問題では「事実・筆者の考えのどちらを中心にはまとめればよいか」を考えるといいですね		<input type="checkbox"/>			
	チェック4	授業で1問解くたびに「この問題から何が学べたか」を考えていますか？		チェック			
	解決策	6年生の春段階からこれができていると、学習効果は大きいでしょう		<input type="checkbox"/>			
	チェック5	語彙をコツコツと増やす努力を続けていますか？		チェック			
	解決策	知識をつける勉強は入試当日まで、と心得てコツコツ取り組みましょう		<input type="checkbox"/>			

浜学園	6年						
	理科						
学習内容	地球と太陽Ⅱ 地球と太陽Ⅲ 月の動きと満ち欠け						
家庭学習 ポイント	3月は地球と太陽2・3そして月に関する全般について学習していきます。No.3～No.5で、5年生までで学習した太陽に関する知識を、入試に対応できるレベルまで掘り下げていきます。夏至、冬至における南北での昼の長さの違いなど、より掘り下げた内容を扱うので、確実におさえておきましょう。No.5の地球と太陽Ⅲでは、日本標準時と時差計算を同時に学習します。まず、国内での南中時刻のずれをしっかり理解することから始めましょう。「太陽は東から昇る=東ほど日の出や南中、日の入りの時刻が早い」からスタートですね。それは2月に学んだ日周運動で1時間あたり15度です。このことが理解できれば、各国の標準時との差で起こる「時差」もまったく同じ現象であることが理解できますね。日付変更線を越える時差の問題では日付が変わるケースがありますが、混乱しそうな場合は「日付変更線を超えない場合」を考える（逆周りで考える）ようにしましょう。No.6の月の満ち欠けや日食、月食は入試に頻出の単元です。日食、月食の起こる原理やいろいろな形の月の南中時刻など、理屈と共におさえていきましょう。						
課題の把握と解決策	チェック1	太陽の南中高度、南中時刻を求めるのに必要な情報を答えられますか？	チェック				
	解決策	公式を知っていることではなく、どのような情報があれば計算できるか知っていることが大切です	<input type="checkbox"/>				
	チェック2	時差計算を正しくできていますか	チェック				
	解決策	東ほど早く太陽が昇る=1日が早く始まる=先に時刻が進んでいくという考え方ですね	<input type="checkbox"/>				
	チェック3	北半球で観測すると、日食、月食は太陽、月が（右・左の）どちらから欠けて見えますか？	チェック				
	解決策	太陽は右、月は左からですが、模式図を見ながら「なぜそうなるか」を考えておきましょう	<input type="checkbox"/>				
	チェック4	それぞれの形の月の、月の出、南中、月の入りのだいたいの時刻を答えられますか？	チェック				
	解決策	「丸覚え」ではなく模式図をもとに3の倍数で（3時・6時・9時・12時…）答えられると完璧です	<input type="checkbox"/>				
	チェック5	1回の授業で扱う情報量に圧倒されていませんか？	チェック				
	解決策	もちろん夏休みや6年後半でも復習はありますが、春のうちにある程度完成させる意識が重要です	<input type="checkbox"/>				
浜学園	6年						
	社会						
学習内容							
家庭学習 ポイント							
課題の把握と解決策			チェック				
			<input type="checkbox"/>				
			チェック				
			<input type="checkbox"/>				
			チェック				
			<input type="checkbox"/>				
			チェック				
			<input type="checkbox"/>				
			チェック				
			<input type="checkbox"/>				